

MLP
Monthly

MLP マンスリー

2020年8月の

MLPの動きをザックリご紹介

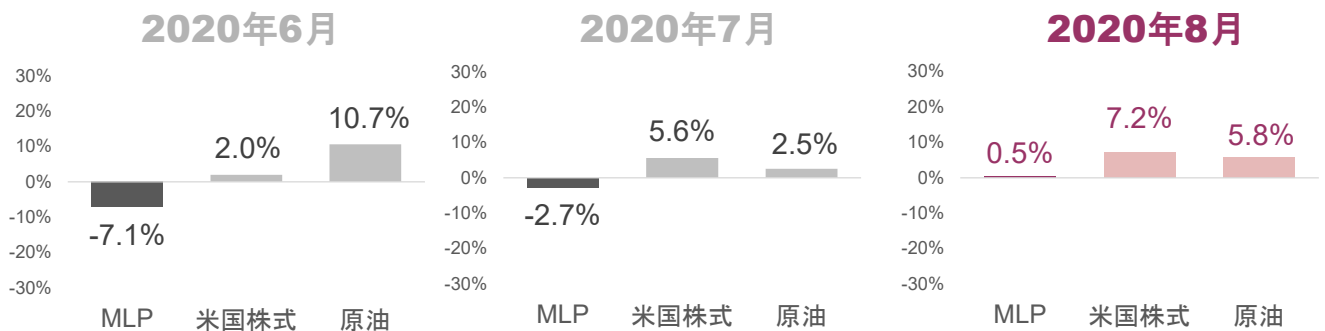
nikko am
fund academy

■当月のS&P MLP 指数の動き

8月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+0.5%と3か月ぶりの上昇となりました。

米国で主要経済指標の改善が確認される中、新型コロナウイルス向けワクチン実用化への期待が高まったことなどを背景に、米国株式市場が上昇基調となり、MLPも中旬頃までは堅調に推移しました。しかしながら、その後は、ハイテク株を中心に米国株式が上昇する一方、MLPは、2020年4-6月期の決算発表が一巡する中、利益確定の売りなどもあり下落基調となりました。

■過去3カ月の主要指標の月次騰落率(米ドルベース、トータルリターン)



■主要指標の動き

MLP: S&P MLP 指数、米国株式: S&P 500 種指数、原油: WTI

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3か月前月末	前年末	前月末比	3か月前月末比	前年末比
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	2,795.67	2,780.97	3,077.54	4,443.25	0.5%	-9.2%	-37.1%
プライスリターン	744.14	753.04	843.79	1,283.04	-1.2%	-11.8%	-42.0%
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	7,192.11	6,709.81	6,227.81	6,553.57	7.2%	15.5%	9.7%
プライスリターン	3,500.31	3,271.12	3,044.31	3,230.78	7.0%	15.0%	8.3%
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	514.05	519.36	554.62	846.58	-1.0%	-7.3%	-39.3%
プライスリターン	266.50	272.09	291.59	456.46	-2.1%	-8.6%	-41.6%
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,269.29	1,259.82	1,174.09	1,481.35	0.8%	8.1%	-14.3%
プライスリターン	288.64	287.08	269.47	345.21	0.5%	7.1%	-16.4%
米国ハイイールド債(ICE BofAメリルリンチ・米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,422.03	1,408.17	1,330.99	1,411.39	1.0%	6.8%	0.8%
プライスリターン	74.59	74.22	70.85	77.11	0.5%	5.3%	-3.3%
米国10年国債利回り							
	0.70%	0.52%	0.65%	1.91%	0.18	0.05	-1.21
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	42.61	40.27	35.49	61.06	5.8%	20.1%	-30.2%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	2.63	1.80	1.85	2.19	46.2%	42.2%	20.1%
米ドル(対円)							
	105.91	105.83	107.83	108.61	0.1%	-1.8%	-2.5%

※ 「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

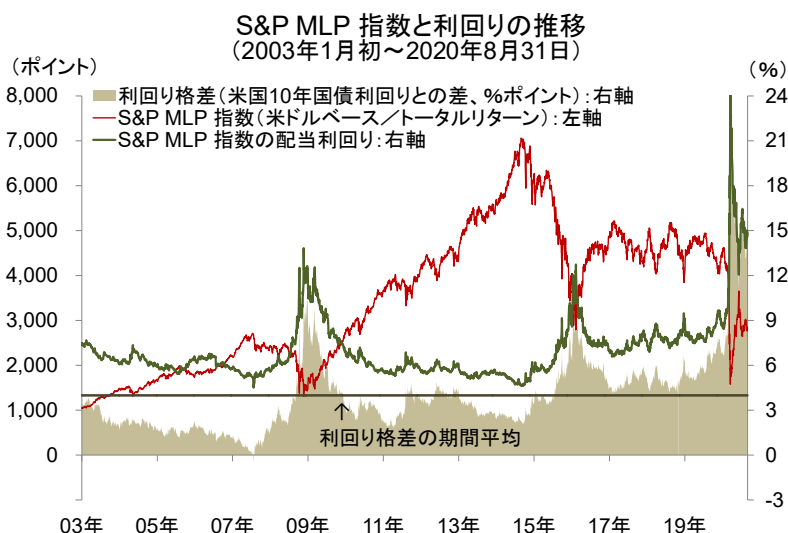
■ 当月の出来事いろいろ

- WTI原油先物価格は、月を通じて、1バレル＝40米ドルを上回る水準で推移。17日、OPEC（石油輸出国機構）と非加盟国の産油国からなるOPECプラスによる原油の協調減産の順守率が7月に95%～97%程度の高水準になったと報じられたこと、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待とともに、経済活動正常化の進展期待が高まったことなどが好感された。WTI原油先物価格は、26日に43.39米ドルと3月上旬以来の高値を付けた。
- 米国債の需給の緩みなどを背景に、米長期金利が上昇基調となった。27日、米FRB（連邦準備制度理事会）が2%としてきた物価目標を「一定期間の平均で2%」に改め、2%を長く下回った場合、「当面は2%を緩やかに超える物価上昇率を目指す」とする新たな政策の枠組みを臨時のFOMC（連邦公開市場委員会）で決定した。これにより、事実上のゼロ金利政策をより長期化する姿勢が示された。ただし、FRBの決定が市場の想定を超えるものではなかったことなどから長期金利は上昇し、10年国債利回りが0.75%と6月以来の高い水準となった。

■ 今後の注目点

- 景気や原油需要への影響を見極める意味でも、米国をはじめ主要国における、新型コロナウイルスの感染拡大と経済活動再開のバランス、および主要経済指標の動向が注目される。

■ MLPの利回り水準



コロナ・ショックに伴うMLPの価格下落および米10年国債利回りの低下により、利回り格差は大きく拡大した。

2020年8月31日時点の各数値

①	S&P MLP 指数の配当利回り	14.85%
②	米国10年国債利回り	0.70%
③	利回り格差(①-②)	14.15%ポイント
④	利回り格差の左記グラフ期間平均	3.98%ポイント

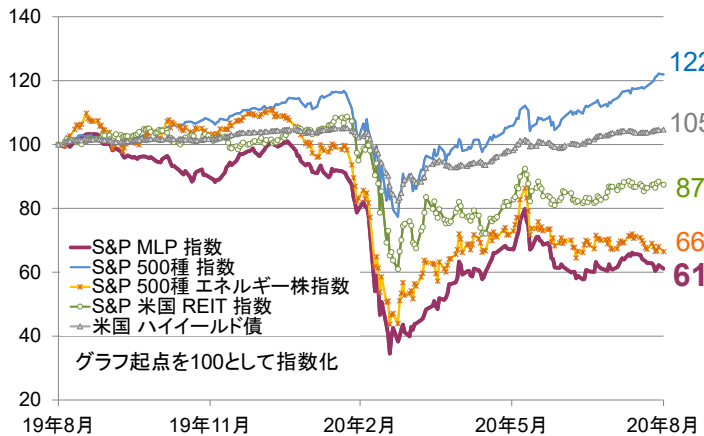
信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

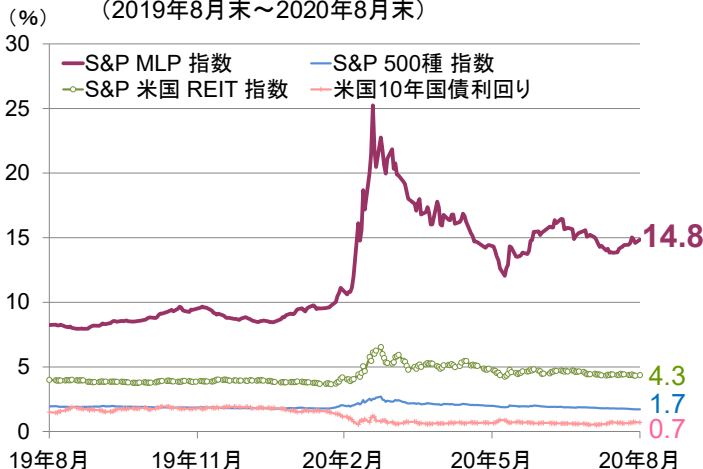
■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン) (2019年8月末～2020年8月末)



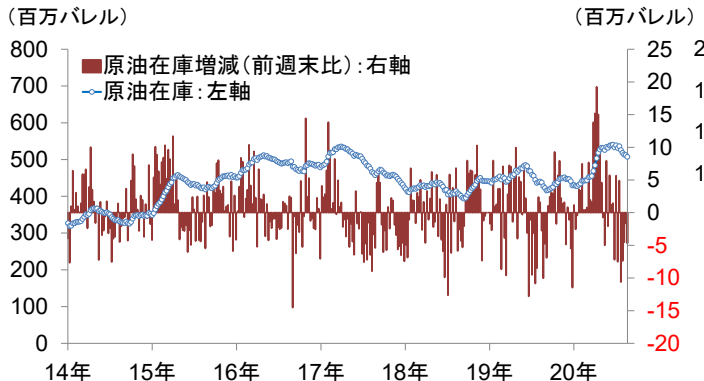
※ 各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

■過去1年の各資産の利回り (2019年8月末～2020年8月末)



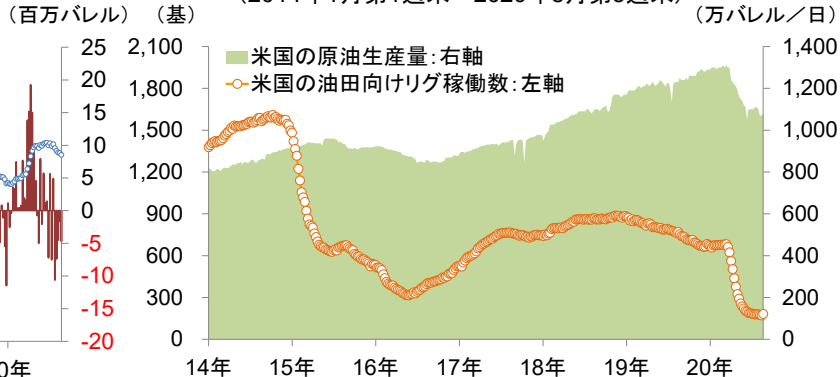
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2020年8月第3週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

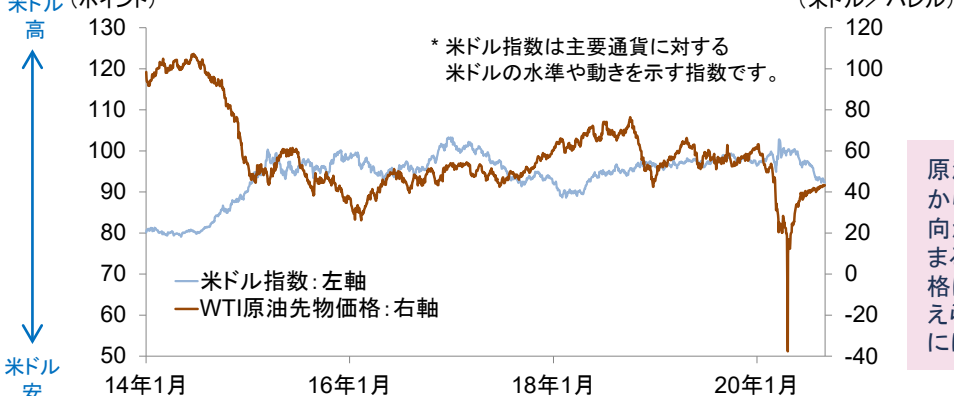
(2014年1月第1週末～2020年8月第3週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給悪化懸念(改善期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給悪化懸念(改善期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2020年8月31日)



* 米ドル指数は主要通貨に対する米ドルの水準や動きを示す指数です。

原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル高基調が強まる場合、割高感などにより、原油価格に押し下げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。